



1 JRC 登録式&生徒会総会 5月11日(木)

<JRC 登録式>

JRC(少年赤十字)は、生徒が赤十字の精神に基づき、日常生活の中での実践活動を通じて、いのちと健康を大切に、さまざまな活動を学校教育の中で展開しています。これまでの活動報告とJRCの成り立ちについても話を聴きました。



<生徒総会>

現生徒会としては2回目の生徒総会でした。第1回は発足して間もないころの総会で、1年間の活動についての総会でした。今回の2回目は、これまでの活動とこれからの予定の報告と規約の改正・次の生徒会の組織にかかわる改編に関する議題でした。各学級からも話し合ったことについて質問や発表がありました。冊子づくりや学級討議など生徒会本部役員さんや各専門部のみなさんの当日までの大変な努力を感じました。

2 交通安全教室 5月16日(火)

県警本部と神埼警察署から署員の方3名に来ていただき、お話を伺いました。各学年の代表者がシミュレーション



画像を使って実際に自転車をこぐ動作をして道路を目的地まで行く振り返り画像を見ながらの指導をしていただきました。信号機や車の動きなどリアルな画像で、危ない場面での回避行動についても学びました。

3 修学旅行 3年生 5月21日~23日

外国の方々へのインタビュー活動もしおりを参考にしながら積極的にチャレンジしていました。天龍寺のお坊さんが座禅体験の最中でみんなを褒められていました。終了してご挨拶に行った

ときには、「後半はまだまだだったね。」と言われていました。我慢強さが足りなかったのでしょうか？改めるべきことは改めて、できていることはもっと高いレベルでできるようにみんなでやってみま

しょう。薬師寺のお坊さんも言ってらっしゃいました。「上を向いて…」と。



3日目の朝、女子の行動がすばらしかった。たぶん身支度や部屋の片付けなど終わって食堂に来ていたのかな。もしかしたら前日の夜から準備をされていて、出発するだけになっていたのでしょうか。朝食も慌てることなくゆっくり食べていました。バスへの乗り込みも予定よりも10分前には終わっていました。

準備は大切で、それをいつやるかも大切です。結果をイメージして見通しをもってやるということです。これからみなさんがやるべきことが待っています。中総体・吹奏楽大会・夏休みの過ごし方・体育大会・高校入試・卒業式などです。今回の女子のように見通しをもって活動しましょう。

男子にもすばらしいことがありました。部屋によっては、みんなそろってフロント前で「ありがとうございました。」とあいさつをしてくれていました。喜ばれたことと思います。



添乗員さんは、みなさんのあいさつについて褒めてありました。宿舎の方もバスの運転手さんもガイドさんも同じことを話されていたそうです。これからも続けていきましょう。

食事や洗面する場面で、片付ける人のことや次に使う人のことを考えた行動ができている人がいて感心すると同時に大切なことだと思いました。



4 マナー講習会 2年生 5月23日(火)

学校法人旭学園 理事長 内田信子さんを講師に迎えて、マナー講習会を行いました。



マナーとは、人が人に対する思いやりです。また、働き始めるなど社会に出ると身に付けていけば喜ばれることです。時と場に応じた適切な言動について考えて、いい姿勢・はきはき挨拶・いい笑顔が日頃から出せるように意識して生活できるようにしましょう。



5 宿泊学習 1年生 5月21日・22日



全長は約9メートルのカッターボートを仲間と力を合わせて漕ぎました。玄界灘の潮風を浴びながら学級の団結力や親睦を深めることができました。また、集団行動でのマナーやきまりを守ることの大切さ、仲間との接し方など一泊二日の中でたくさんのことを学びました。これからの生活に生かしていきましょう。



6 ネット社会に生きるみなさんに 知っておいてほしいこと part1

人工知能(AI)が登場してから数年もたっていないのに、それを使ったチャットGPTなるものが話題になっています。そんなネット社会の中で生きていかなければならないみなさんに知ってほ

してことを述べていきます。便利なものなので「悪い面」「良い面」を知って、よりよく利用していただきたいと思います。

ネットには「ウソ」もたくさんある。

ネットの一番すごいところは、世界中の人が、簡単に情報を交換できるようになったことです。ただ便利なものほど悪用されるのが人間の歴史で、ネットほど悪意にさらされやすい道具もありません。

かつて「子供とネット」問題の主役は、有害情報への対策でした。出会い系、アダルトサイト、自殺情報、暴力コンテンツなど目に触れることが望ましくないサイトから、いかに子供たちを守るか。もちろん、今でも重要なテーマです。

しかしながら、それ以上に注意すべきなのは、一見してそれと分からない「巧妙な悪意」です。無警戒なまま被害に遭わないために、ネット上にはたくさんの「ウソ」があることを認識する必要があります。

子供を演じる悪い大人がいるという事実

「ネットで知り合った人と、実際に会うのはやめましょう」など、もう聞き飽きた言葉かもしれませんが、これは「危ない大人がいる」ことへの注意ですが、ネット上で見ず知らずの相手に不用意に名乗ったり、会ったりしてはいけないことは、みなさんも十分知っています。

でも、相手が「同じ年の子」だったらどうでしょうか？あるいは「隣の学校の子」「去年まで同じ学校だったけど、転校した子」だったら？きっと相手が見ず知らずの大人ほどには警戒しないでしょう。しかも、相手の話す内容が本当にそれらしくて、どんどん仲良くなったとします。この相手から「会って遊びに行こう」と言われたら、つい頷いてしまうかもしれません。

しかし、よく考えてみてください。この相手が本当に「子供」であるとは限りません。

写真をもっているから安心？いいえ、写真はネットからいくらでも他人のものを調達できます。会話をそれらしく合わせるのも、大人にはそう難しいことではありません。

待ち合わせ場所に行ったとき、そこにいるのが「悪い大人」でないという保証は、どもにもないのです。